

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月7日

上場会社名 株式会社 日本トリム 上場取引所 東
 コード番号 6788 URL <https://www.nihon-trim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 周夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 尾田 虎二郎 TEL 06-6456-4600
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,459	13.8	772	39.2	814	37.5	568	33.7
2024年3月期第1四半期	4,796	10.7	554	9.1	592	9.2	425	30.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 623百万円(30.1%) 2024年3月期第1四半期 478百万円(11.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	74.18	—	—	—
2024年3月期第1四半期	55.49	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2025年3月期第1四半期	31,564		23,562		70.2	2,890.78		
2024年3月期	31,544		23,627		70.7	2,911.21		

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 22,157百万円 2024年3月期 22,314百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00	—
2025年3月期	—	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	95.00	95.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	11,250	7.6	1,720	2.0	1,790	1.4	1,260	5.5	164.38	
通期	22,800	11.7	3,570	15.9	3,700	14.7	2,470	14.9	322.24	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	8,656,780株	2024年3月期	8,656,780株
2025年3月期1Q	991,796株	2024年3月期	991,758株
2025年3月期1Q	7,665,020株	2024年3月期1Q	7,665,113株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、“快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する”という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて、ひとびとのWell-beingに貢献することが我々の使命です。当社の電解水素水浄水器は、「胃腸症状の改善」に効果が認められた管理医療機器であり、また、使用する浄水カートリッジは、近年、世界的な環境問題として注目を集めるPFAS（ピーファス：有機フッ素化合物の総称）を除去する性能(*1)を備えており、安心して暮らせる環境づくりにも貢献しております。「社会はいつでも我々の製品を必要としている」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

(*1)JWPAS B（浄水器協会自主規格）に規定されている試験方法により浄水能力試験を実施。PFASのうち、特に有害性が高いとされるPFOS、PFOAについて、当社浄水カートリッジ全種で除去率80%以上を確認しております（JWPAS B.210試験結果）。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,459百万円（前年同期比13.8%増）と、第1四半期として過去最高となりました。営業利益は772百万円（同39.2%増）、経常利益は814百万円（同37.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は568百万円（同33.7%増）となりました。売上、利益ともに当期計画に対して先行して進捗しております。

当社グループは、2027年3月期連結売上高320億円を目標とし、その実現並びに中長期的な企業価値向上を目指し、以下の3点を重点的に取り組んでおります。

1. 主事業である浄水器販売事業の直接販売部門の量的拡大
2. 浄水器販売事業の卸・OEM部門における海外展開の拡大
3. 世界に先駆けた電解水透析の普及と、保険適用も視野に入れた研究開発等の活動

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

[ウォーターヘルスケア事業]

浄水器販売事業では、浄水器売上高が2,300百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

DS事業部（職域販売部門）では、コロナ禍収束により説明会開催数がコロナ禍前の水準に戻り、好調に推移いたしました。昨年より注力しておりますスポーツ分野においては、野球、サッカー、テニス、バスケットボール、アメリカンフットボールなど、展開先がますます広がってまいりました。また、昨年に続き、本年6月においても月間受注台数5,000台を突破し、営業力・販売力強化の成果が着実に表れております。HS事業部（取付・紹介販売部門）では一人当たりの販売台数が増加し、SS事業部（店頭催事販売部門）では展示会等の来場者数増加で受注台数が増加するなど、順調に進捗しております。各部門におきまして、今後の成長を見据え、引き続き人員増にも取り組んでおります。

MS事業部（卸・OEM部門）では、既存代理店の販売支援強化とともに、海外向け取引の新規代理店獲得に注力しており、当期下半期以降の稼働に向けて鋭意取り組んでおります。

ストックビジネスである国内カートリッジ販売につきましては、情報配信や電話によるフォローなど、顧客サービスの強化に努めた結果、売上高1,417百万円（同5.9%増）と、着実に伸長しております。

インドネシアでボトルドウォーター事業を展開するPT. SUPER WAHANA TEHNOの売上高が765百万円（前年同期比92.2%増）と大幅に伸長し、四半期として過去最高となりました。前期に実施したTVCMやインフルエンサーを起用したSNS広告などのマーケティングへの先行投資が奏功し、Pristine（プリスティン）のブランド認知度は飛躍的に向上しております。当期におきましてもマーケティングへの先行投資を継続しており、更なる業績の伸長を実現してまいります。

研究開発においては、神戸大学との共同研究講座「エッセンシャルヘルスケア科学共同研究講座」を始め、理化学研究所、東京大学、東北大学、早稲田大学等と、電解水素水の効果とその機序解明とともに新たな事業シーズ探索を目的とした共同研究を引き続き進めております。現在、4報の論文を投稿中、2報を投稿準備中です。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は4,765百万円（前年同期比14.6%増）、セグメント利益は689百万円（同47.4%増）となりました。

[医療関連事業]

電解水透析(*2)事業では、本年6月の「第69回日本透析医学会学術集会・総会」において電解水透析関連で9演題が発表され、また、ランチョンセミナー「電解水透析～Breakthrough～」には、医師や臨床工学技士など透析治療に関わる総勢300名以上が出席されるなど、電解水透析の認知は着実に向上しております。また、7月に開催された第1回電解水透析研究会・学術集会では、患者へのメリット、透析スタッフのメリット、透析施設経営上のメリットにつき15演題が発表されました。今後の論文化も期待され、電解水透析普及の大きな後押しになると考えております。

(*2)電解水透析とは、透析治療で使われる透析液の希釈水を、当社の技術による電解RO水にすることで、透析液に水素を溶存する特性を持たせた次世代新規治療法。世界で初めて溶媒である水の機能に着目した従来にない技術です。通常透析と比べ、治療後の投薬量減少や透析患者の粗死亡率が低いというデータを取得しており、注目を集めております。

再生医療関連事業では、ステムセル研究所（東証グロース、証券コード：7096、当社持分72.1%）の売上高が四半期過去最高となり、利益面につきましても順調に伸長しております。同社は2025年3月期第1四半期決算発表を当社と同じく8月7日に実施しておりますので、詳細につきましては同社決算短信をご参照ください。

以上の結果、医療関連事業の売上高は694百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は82百万円（同4.7%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は31,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加（前期比0.1%増）いたしました。主な要因は、投資有価証券が202百万円、現金及び預金が165百万円、原材料及び貯蔵品が81百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が387百万円、製品が61百万円増加したことによるものであります。

負債は8,002百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加（同1.1%増）いたしました。主な要因は、未払法人税等が486百万円、賞与引当金が113百万円減少した一方、流動負債のその他に含まれる未払金が510百万円、前受金が92百万円増加したことによるものであります。

純資産は23,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円減少（同0.3%減）いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益568百万円の計上及び非支配株主持分が91百万円増加した一方、配当金の支払い688百万円を行ったこと及びその他有価証券評価差額金が76百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、2024年5月14日「2024年3月期決算短信」にて公表しております。通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,959,093	13,793,795
受取手形及び売掛金	5,758,101	6,145,917
有価証券	1,302,898	1,301,300
製品	604,471	666,049
原材料及び貯蔵品	1,064,684	983,459
その他	255,646	244,098
貸倒引当金	△25,056	△26,242
流動資産合計	22,919,840	23,108,378
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,579,253	2,581,208
その他(純額)	1,851,348	1,898,028
有形固定資産合計	4,430,601	4,479,237
無形固定資産		
のれん	348,910	339,630
その他	243,763	233,492
無形固定資産合計	592,674	573,122
投資その他の資産		
投資有価証券	1,767,309	1,564,524
その他	1,883,448	1,888,531
貸倒引当金	△49,113	△49,113
投資その他の資産合計	3,601,644	3,403,942
固定資産合計	8,624,920	8,456,302
資産合計	31,544,761	31,564,680
負債の部		
流動負債		
買掛金	550,221	553,181
未払法人税等	740,198	253,995
前受金	3,702,438	3,794,749
賞与引当金	185,000	71,606
製品保証引当金	84,000	86,000
その他	1,368,342	1,890,582
流動負債合計	6,630,202	6,650,115
固定負債		
株式報酬引当金	88,800	111,221
役員退職慰労引当金	299,572	262,343
退職給付に係る負債	407,417	413,494
その他	491,421	565,384
固定負債合計	1,287,211	1,352,443
負債合計	7,917,414	8,002,559

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	1,823,945	1,823,945
利益剰余金	22,838,855	22,719,103
自己株式	△3,448,320	△3,448,459
株主資本合計	22,207,077	22,087,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,947	△11,623
為替換算調整勘定	49,075	88,115
退職給付に係る調整累計額	△6,603	△5,928
その他の包括利益累計額合計	107,420	70,563
非支配株主持分	1,312,848	1,404,371
純資産合計	23,627,347	23,562,121
負債純資産合計	31,544,761	31,564,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	4,796,396	5,459,216
売上原価	1,401,822	1,636,913
売上総利益	3,394,574	3,822,303
販売費及び一般管理費	2,840,046	3,050,157
営業利益	554,528	772,145
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,033	12,856
持分法による投資利益	648	1,374
不動産賃貸料	20,615	21,004
為替差益	913	362
保険解約返戻金	5,305	—
固定資産売却益	6,924	9,710
その他	7,090	2,249
営業外収益合計	47,531	47,556
営業外費用		
支払利息	779	286
貸与資産減価償却費	3,608	3,664
保険解約損	4,758	—
貸倒引当金繰入額	—	300
その他	843	1,099
営業外費用合計	9,990	5,351
経常利益	592,069	814,351
特別利益		
固定資産売却益	597	—
投資有価証券売却益	22,327	149,274
事務所移転費用戻入益	1,746	—
特別利益合計	24,671	149,274
税金等調整前四半期純利益	616,740	963,625
法人税、住民税及び事業税	175,780	237,587
法人税等調整額	27,541	62,343
法人税等合計	203,322	299,930
四半期純利益	413,417	663,694
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,933	95,123
親会社株主に帰属する四半期純利益	425,351	568,571

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	413,417	663,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,985	△103,348
為替換算調整勘定	46,268	61,944
退職給付に係る調整額	134	586
持分法適用会社に対する持分相当額	110	358
その他の包括利益合計	65,498	△40,457
四半期包括利益	478,916	623,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465,748	531,714
非支配株主に係る四半期包括利益	13,167	91,522

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の2つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務を行っております。「医療関連事業」は、医療・予防医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,158,947	637,449	4,796,396	—	4,796,396
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,158,947	637,449	4,796,396	—	4,796,396
セグメント利益	467,714	86,813	554,528	—	554,528

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,765,007	694,208	5,459,216	—	5,459,216
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,765,007	694,208	5,459,216	—	5,459,216
セグメント利益	689,423	82,722	772,145	—	772,145

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	63,327千円	73,243千円
のれんの償却額	9,279千円	9,279千円